

# 6th・阪急

---

## ええはがき コンテスト

神戸線・伊丹線・甲陽線

---

### 入賞作品集

---



# 目次

阪急ええはがきコンテスト 神戸線・伊丹線・甲陽線について	1
最優秀賞 写真部門	2
最優秀賞 絵画部門	3
歴史・思い出賞	4
学生優秀賞	5
審査員賞 有野永霧先生	6
審査員賞 井上正三先生	7
大阪ええはがき研究会賞	8
神戸市長賞	9
芦屋市長賞	10
西宮市長賞	11
伊丹市長賞	12
尼崎市長賞	13
大阪市長賞	14
秀作賞	15
佳作 神戸市	18
佳作 芦屋市	23
佳作 西宮市	25
佳作 伊丹市	29
佳作 尼崎市	32
佳作 大阪市	34
入賞作品 発表・展示の様子	34
阪急ええはがきコンテストの軌跡	35
審査員の先生方からのメッセージ	40

本作品集では、作者の敬称は略させていただいております。  
作者名にPNと付記した方はペンネームです。

## ごあいさつ

地域（まち）の魅力を再発見し、発信するイベント「阪急ええはがきコンテスト」。6回目の開催となる今回の対象エリアは、神戸線（神崎川～神戸三宮）、伊丹線（塚口～伊丹）、甲陽線（夙川～甲陽園）の沿線です。

今回も身近なまちの魅力を切り取った写真や絵画など、800点を超えるご応募があり、有名な観光スポットから、生活環境に根付いた魅力を題材とした作品まで数多く揃いました。

様々な視点で地域の魅力を捉えた作品を前に、審査員の先生方が熱い議論を重ねた結果、見事選出されたのが、この作品集でご紹介する珠玉の61作品です。

この作品集を通じて、みなさま方も今回の対象エリアの魅力を発見・再認識してください。そして、ご自宅の周辺や日々の外出先の風景の中でも、「ええはがき」の視点で地域の魅力を発見してみてください。

2015年12月

ええはがきコンテストのホームページでは、今回のコンテストの全入賞作品の「ええはがき」がダウンロードできます。また、過去5回（2010年 宝塚線・箕面線沿線、2011年 今津線沿線、2012年 京都、2013年 京都線Part2、2014年 京都線Part3&千里線沿線）の「ええはがき」もダウンロードできます。



ホームページURL

<http://www.hankyu.co.jp/eehagaki/>

# 阪急ええはがきコンテスト 神戸線・伊丹線・甲陽線について

## 募集作品

豊かな自然や歴史的資産、様々な活動など、いろいろな視点から見た地域(まち)の魅力を写真やイラストなどで切り取り、それらに対する思いやメッセージを添えて応募していただく。思い出の中の風景等を対象にした作品や、組作品の応募も可。

## 作品募集期間

2015年4月15日～2015年8月31日

## 対象エリア

神戸線(神崎川～神戸三宮)  
伊丹線(塚口～伊丹)  
甲陽線(夙川～甲陽園)

## 賞

最優秀賞 写真部門	1作品	神戸市長賞	1作品
最優秀賞 絵画部門	1作品	芦屋市長賞	1作品
歴史・思い出賞	1作品	西宮市長賞	1作品
学生優秀賞	1作品	伊丹市長賞	1作品
審査員賞	2作品	尼崎市長賞	1作品
大阪ええはがき研究会賞	1作品	大阪市長賞	1作品
秀作賞	3作品	佳作	45作品

## 審査員(敬称略)

有野永霧(写真家)、井上正三(画家)、杉本容子(大阪ええはがき研究会)

主催:阪急電鉄株式会社

共催:阪急阪神ホールディングス株式会社

後援:大阪府、兵庫県、大阪市、尼崎市、伊丹市、西宮市、芦屋市、神戸市

協力:大阪ええはがき研究会、株式会社阪急アドエージェンシー

## ▶ ええはがきとは…

ええはがきは、「大阪ええはがき研究会」が提唱するまちの魅力を発信する絵はがきのこと。

写真やスケッチに加え、作者の思いを伝えるコメント、撮影・スケッチした場所の地図が載っているのが特徴です。

## ええはがきの3つの楽しみ方

### 見て楽しむ

この作品集を見て、沿線のええポイントを再チェック!

お気に入りの作品はWebからダウンロードしよう!

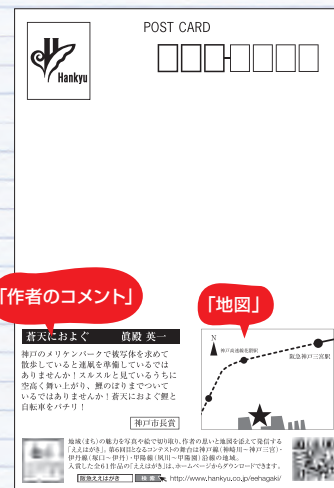
### 行って楽しむ

ええはがきを片手にまちの魅力を探しに行ってみよう!

### 送って楽しむ

ええはがきはもちろん、はがきとして活用OK!あなたの周りの人に送って、まちの魅力を発信してみよう!

「写真・スケッチ」



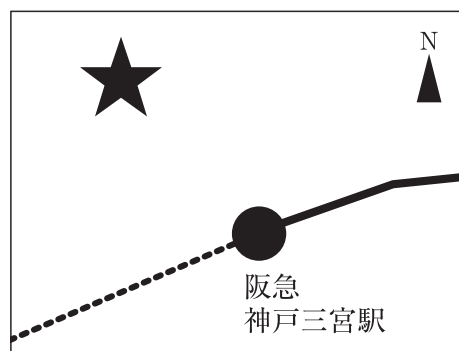




夕暮れに異人館から望む

高橋 一吉

三宮の街を異人館の裏山にある港みはらし台から見る光景が好きです。特に夕暮れは最高です。



審査員  
講評

神戸の異人館のある風景を、異国情緒満点に写し込んでいます。アングルが良く、夕暮れ時の斜陽のとらえ方もよく、神戸の特色を見事に表現している。特筆すべきは、プリントのエキゾチックな色表現です。トルコやイタリアのような海外で撮った写真ではないかと見間違えそうです。  
(有野永霧)

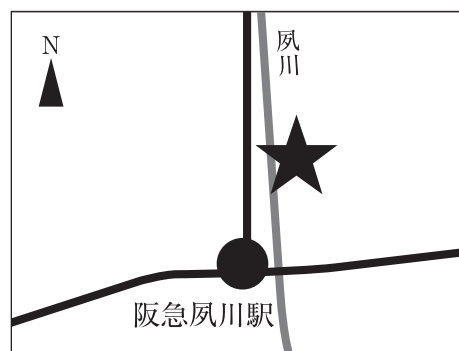




## 夙川の夜桜

平野 美保

会社帰りの主人と夙川駅で待ち合わせして、夜桜見物をした。お弁当を作って一緒に食べた。夜桜は私に切ない思い出を残してくれた。2人きりの大切な思い出。



### 審査員 講評

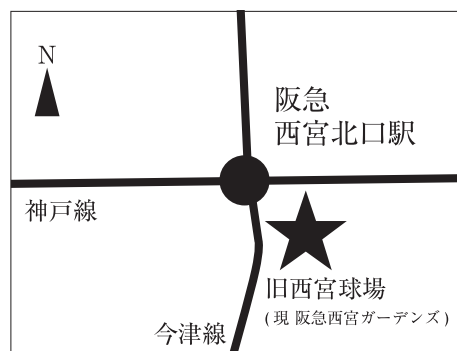
大切な思い出の情景を手練り寄せ、思う存分おらかに表現されています。野菜のような桜の幹、歓喜する伴侶が印象的です。そんな思い出の中に突如、なぜか蜂と猫。絵とは対象物を写し取るのではなく、自分のイメージを表現することだとダ・ヴィンチは言いました。そんなあるがままの世界でこの蜂と猫のミステリアスな登場はいろんな想像を楽しませてくれます。（井上正三）



## 1984年の日本シリーズ

山下 勝久

広島カープと1勝1敗でむかえた第3戦目の西宮球場であったが、これが最後の日本シリーズになると思わなかった。



### 審査員 講評

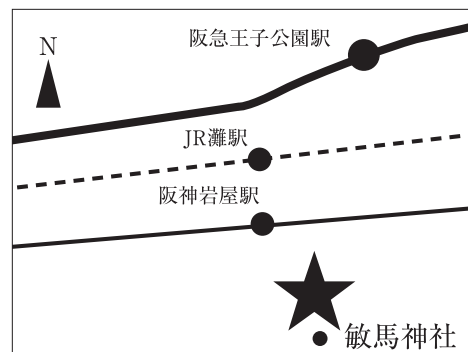
1984年は、阪急ブレーブスが最終戦で広島カープに負け、日本一になれなかった日本シリーズ。西宮球場は今や大きく変わり、存在しませんが、阪急ファンの懐かしい思い出の球場です。その球場を入場門から写した作者のお宝写真でしょうに、よくぞ応募してくれました。写真は記録であるということを証明しています。(有野永霧)



## 大好きな僕のまち

山井 雅紀

いつもは行くことのない道を進んでみると、新しい世界が見えてきました。このどこにでもあるしずかなまちがなぜか「ええな～」と思いました。この平和な世界がずっとつづくことをねがっています。



### 審査員 講評

一見すると何を切り取っているのかわからないようにも思えますが、まちのことに興味を持ち始めたばかりの瑞々しい感性にあふれています。つぎはぎだらけの路面舗装、電柱や路傍樹が入り組む街並み、どこかへ誘うように続いていく坂道。まちへの好奇心が、その先にある空間を「新しい世界」に変えてくれます。学生さんとまちとの素敵な出会いに期待が膨らむ作品です。（杉本容子）

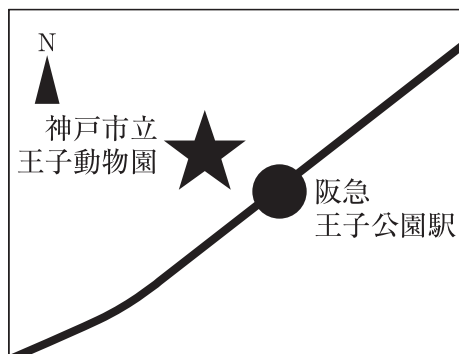




楽しいな～

秋田 れい子

神戸、三宮からすぐの位置にありながら、ゾウ、パンダ、コアラなどの人気動物から、可愛い小動物を、真近で見たり、触ったりが楽しい、ふれあい広場など、王子動物園は神戸線エリアのお気に入りスポットです。



審査員  
講評

大都市・神戸に隣接している王子動物園。園児でしょうか、押し合いへしあっている背中から、彼らの強い好奇心と興味度がうかがわれます。同一の黄色い帽子がきれいに並び、色とりどりのリュックサックがリズムカルに写されていて、私たちの目を引きつけます。みんなが見ている動物たちをしっかりと写し込んでいるのもよい。(有野永霧)



## シャレタ街角

田中 昭雄

芦屋川駅を海に向かって左側を芦屋川に沿って3分ほど歩いたところにオシャレな外観の芦屋パレ・エレガンスがあります。天気の良い日には、大阪湾も一望できるお気に入りの場所です。



### 審査員 講評

路上に延びる木陰が画面を大きく占め、人通りもなく、路駐の車だけの通りを描いたこの作品は、一瞬の涼風が吹く初夏の一日を思わせます。荒い筆致を控え、彩度を抑えた色合いは華やかな街の佇まいを静寂さでひっそりと包み込む効果をもたらしています。紙の白地を生かした明暗も素敵で淡彩ならではの作品です。（井上正三）

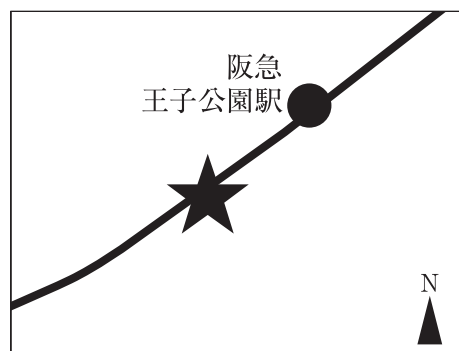




## 高架下で働く

山下 茂

王子公園駅すぐの高架下に材木のお店があり、店内で忙しそうに働いている雰囲気が良かったです。神戸線の高架下に注目していきたいです。



## 審査員 講評

神戸らしさの一つ、高架下を使ったまちの風景。何気ないシーンですが、意外に明るいドアの向こうでたたずむ人、どうやって座るの?!と思わせる2階の椅子、まちなみが映り込んだ車の窓と、「カッコいい」が隅々まで潜んでいます。思わずこのまちを訪れてみたくなる、ええはがきらしい魅力にあふれた作品です。(杉本容子)

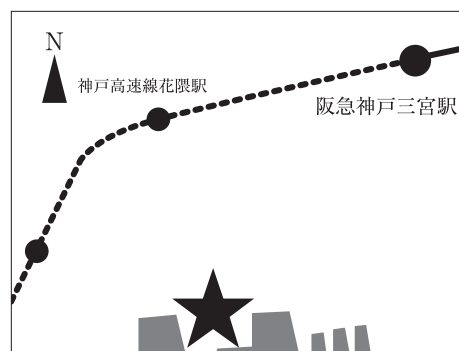




## 蒼天におよぐ

眞殿 英一

神戸のメリケンパークで被写体を求めて散歩していると連凧を準備しているではありませんか！スルスルと見ているうちに空高く舞い上がり、鯉のぼりまでついているではありませんか！蒼天におよぐ鯉と自転車をパチリ！

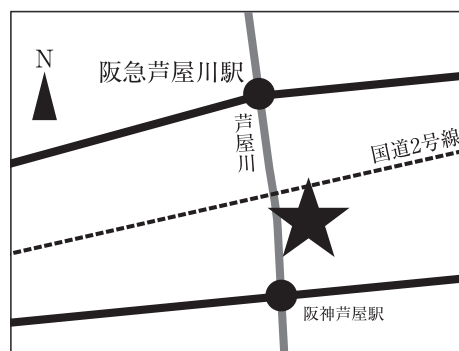


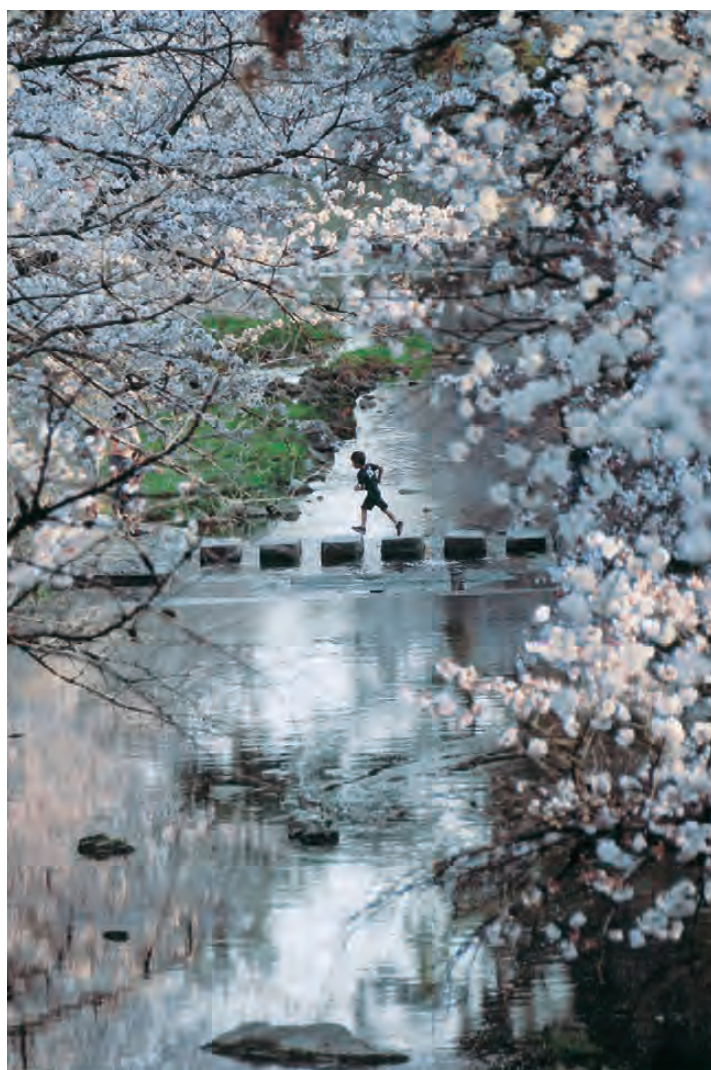


カトリック芦屋教会

井貫 百合恵

この街のシンボル「カトリック芦屋教会」。割とどこからでも教会の尖塔が見えます。教会の荘厳な鐘の音を夕方の芦屋川河川敷を散歩しながら聴くと、とても清々しい気持ちになります。

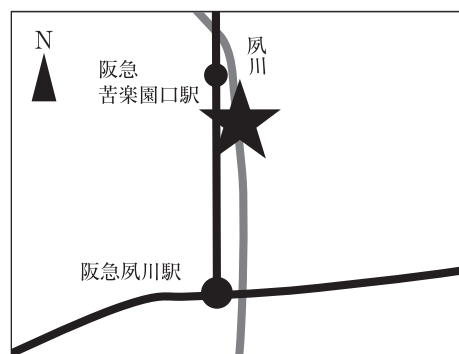




桜と少年

藤井 英明

桜を写すのはとても難しいものです。水面に写るのをきれいだなーと思ってカメラを向けているとひとりの少年が走ってきました。飛び石を勢いよく飛んでいきます。これぞシャッターチャンスとシャッターを切りました。



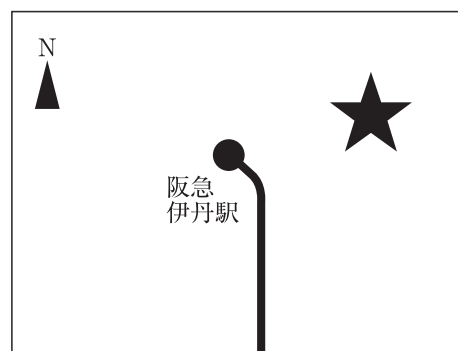




酒蔵の街 伊丹

平井 達郎

歴史の街 伊丹は酒蔵の街でもある、阪急伊丹駅周辺をそぞろ歩きすると大手酒造会社の酒蔵にぶつかる。

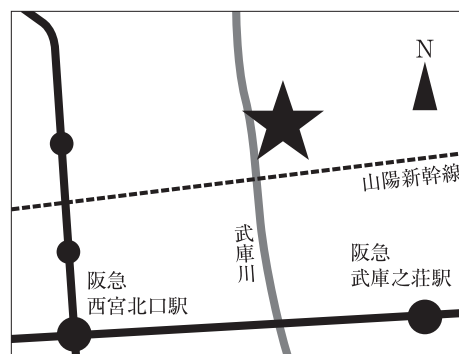




## 武庫川コスモス園

笠井 忠

ボランティアにより、不法投棄で荒れ果てていた河川敷を整備し開園したコスモス園。六甲の山並に太陽が沈もうとする頃、雲の間から顔を出した太陽で、雲も黄花コスモスもオレンジ色に染まり、感動的な夕暮れでした。





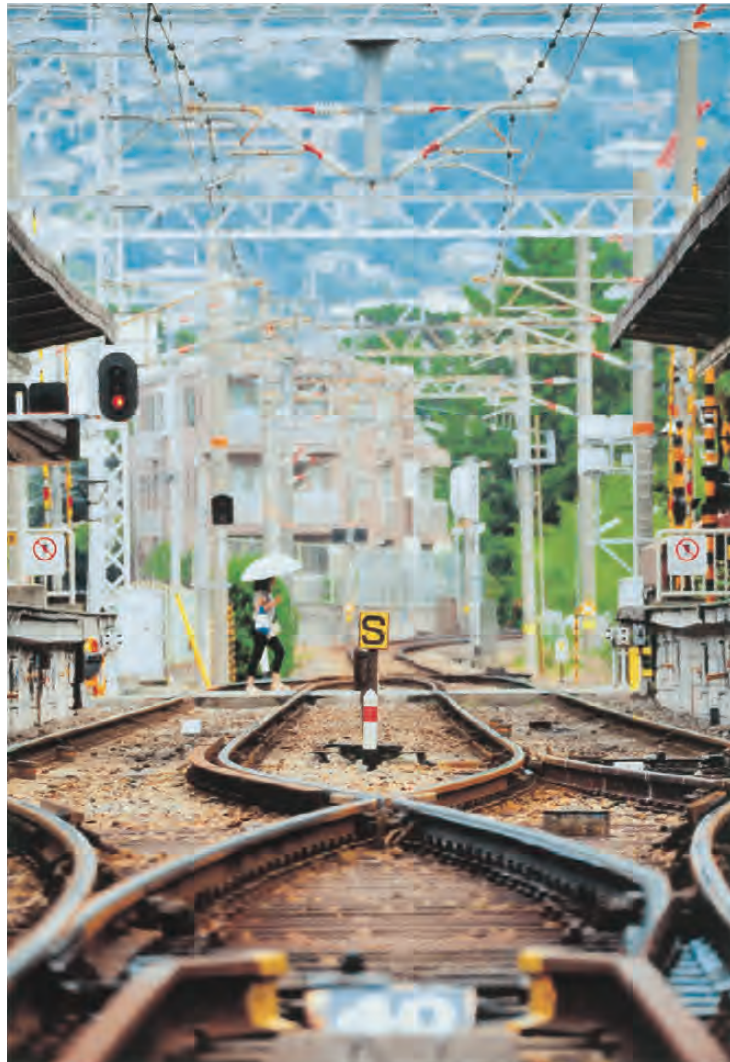
幸せ福らむ商店街

乾 真佐寛

年々過疎化していく商店街の中で何とか存続を願いが  
んばっております。たまたま、中元大売出しの時の一  
コマを書きました。懐かしき昭和の時代を感じて頂け  
れば幸いです。



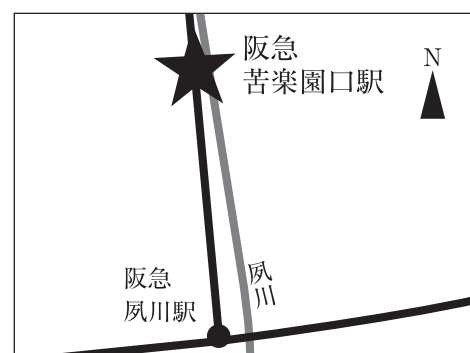




休日の苦楽園口駅

落合 鋼

単線が魅力の甲陽線。休日の夙川沿いは時間がとてもゆっくり流れています。そして人も車も街並みも、そこにあるすべてのものが優しく感じられるところ。穏やかな気持ちで一日過ごせそうです。

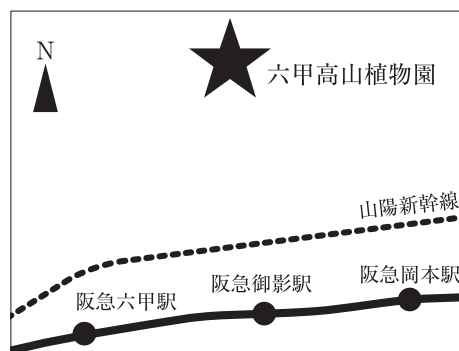




## 六甲高山植物園

関 政弘

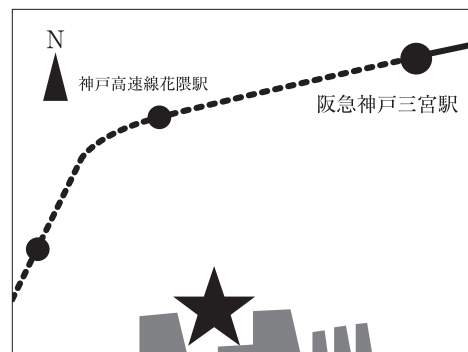
高山植物の写真を撮りに行きましたが、あいにくの雨。その後雨が上がって園内を散策していると樹林帯の中で雰囲気がよく手前の木が浮かび揚がる様に。雨に感謝。





見てみたかったな～。クイーン・エリザベス 中村 勇人

てっきり中突堤に着くものと思いこみ、行ってはみたものの…。見てみたかったな～。クイーン・エリザベス、スマートでエレガントな豪華船。ポートタワーの上から見たかったな～。

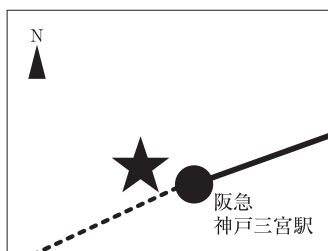






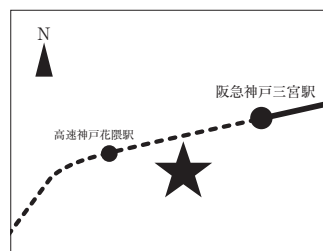
緑の街道“いくたロード” 山下 信一

いくたロードのアーチの緑を始点に、東急ハングスのミドリ色、生田神社の背景の新緑の山並みへと続いていきます。5月の新緑の頃、私は“緑の街道”と名付けました。大震災から復興し、若者たちが闊歩します。



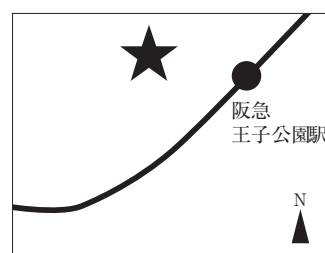
異国情緒の街 羽嶋 和子

神戸はお洒落な街並みが至る所にあります。元町駅の近くのこの場所は異国の雰囲気がある、大好きな場所でいつも立ち止まって見えています。



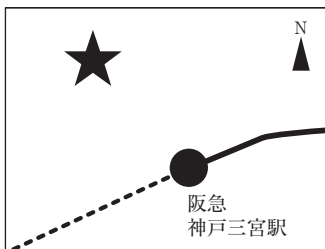
桜色に染まって 片岡 雅子

桜の時期。花見客でもいっぱい。とりわけ、遊園地は親子づれでにぎわいます。桜を眺めながら、モノレールに乗る親子。心もきっと桜色に染まって、うきうき。楽しそうでした。



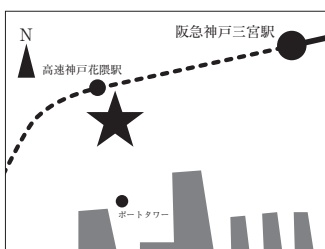
## 遠い日の外国人の思い 上野 利雄

各駅を回り歩きましたが異人館の何枚かの写真が切り絵に良いと思い館全体の写真とアップの写真のどちらかと思いましたが館の象徴である風見鶏が見えた方が良いと思いアップの写真を題材にしました。



## ポートタワーが見える元町通 丸山 権三郎

元町商店街4丁目あたりで、浜側に大きく真赤なタワーが見えます。この路地にある喫茶店に元ブラしながらお茶（コーヒー）を飲みながら時々行きます。海岸通に近いので海の匂いが時々します。

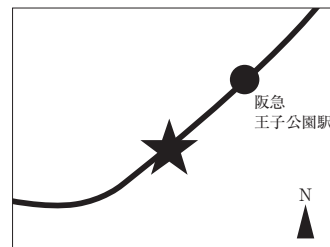






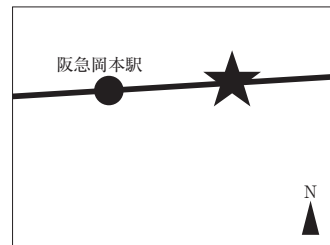
高架のむこう 堀口 久子

いつも見慣れた風景でも、高架のむこうは、少しだけ日常と違った世界が広がっているような、そんな不思議な気がしてきます。なつかしい風景の1コマを木版画にしてみました。



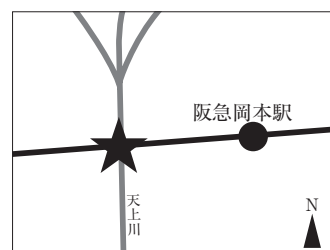
線路の下をくぐれば 古川 滉大

私の家の近所で一番雰囲気気に入っている路線下のトンネルを描きました。レンガ風の壁はコケがついており、薄暗い中はやや不気味ですがトンネルの先が坂になっており、そこからの光が幻想的な空気を作っています。



クロスロード 落合 鋼

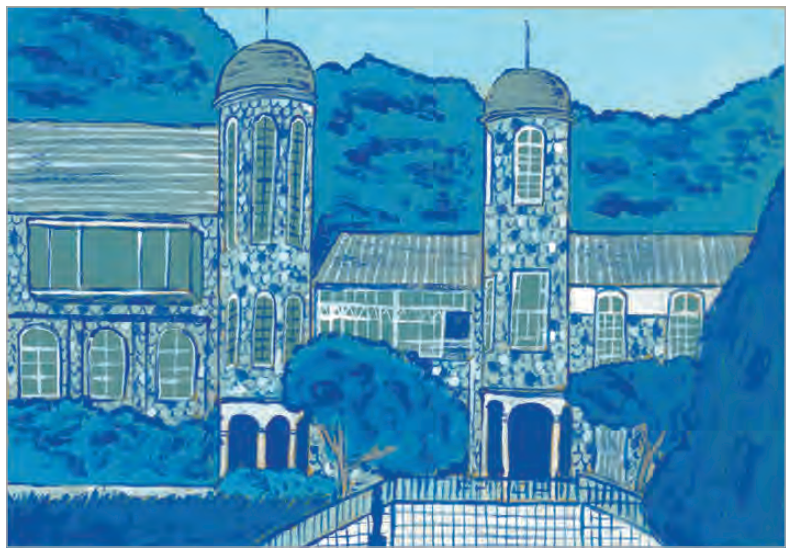
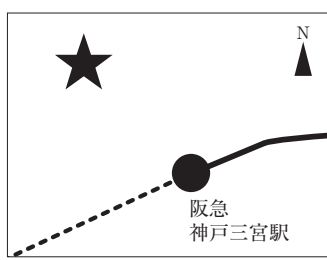
人と河川と鉄道との距離が近い場所を見つけました。家並の中から出てきた電車がゆっくりと鉄橋を渡っていきます。日常を支える道と川、そして鉄道は、人々の生活を結ぶ大切なライフラインだったのです。





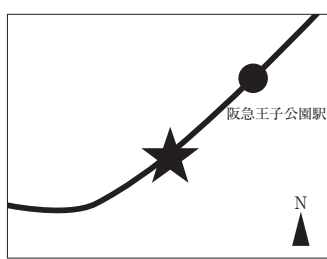
**見守る異人館 たなかきょおこ**

大学に入って初めてのデートで訪れた異人館。十数年後、息子と再訪することになるなんて、当時は想像すらできませんでした。変わらない風景にほっとしました。



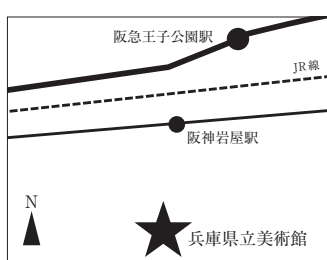
**高架もおしゃれに 山下 夏生**

5歳になったばかりの息子はカメラが好きで、一眼レフを持ち、街を歩いています。この日は、王子公園駅の高架下で描かれていた絵画が一番気に入ったようです。



**美の地獄 梅村 侑史**

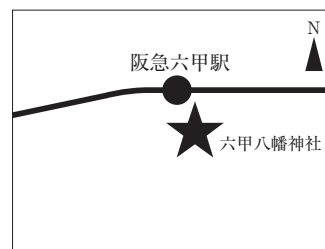
ある美術館の中にある階段です。のぞき込んでみると、こわいぐらいの高さがあります。広い美術館なのですが、これ以外にも、さまざまなものがあり、今や街の代表です。なかなか面白く、奥深いですね。





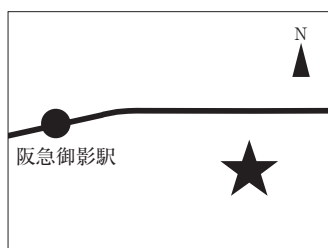
微笑みの鈴 赤松 伽南

お賽銭を入れ、ひもを引くと、カランカランと軽快な音が境内に響きます。ふと目線を上げると、可愛らしい顔をした鈴と目があいました。小さく笑っているかのようなふたつの鈴に、思わず微笑み返してしまいました。



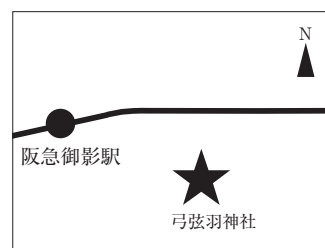
夕涼みの散歩道 うらら (PN)

神社と美術館の大きな樹々に囲まれた石畳の路。蝉時雨のなか夕涼みの散歩の始まりです。



地車宮入 西川 敏弘

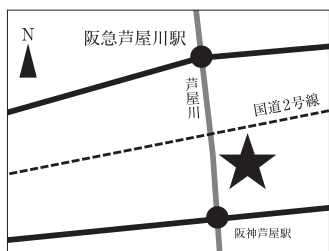
雨の中行われた、神戸市灘区御影ゆするは神社のだんじりの宮入り。写真は宮入を無事終り、若衆がもり上がっているところです。





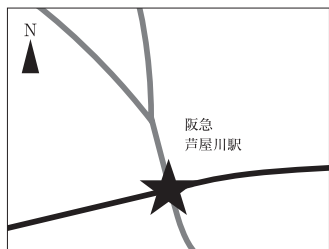
川のほとりの教会 田中 昭雄

芦屋川を海に向かって歩いて行くと川ぞいにカトリック芦屋教会の塔が見えてくる。芦屋市の中心部に閑静な街並みに溶け込んでしばし心和む風景です。



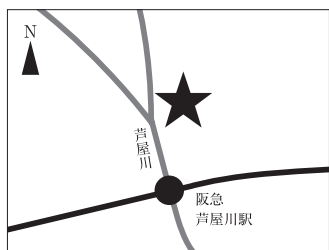
阪急 芦屋川駅 荒川 一彦

閑静な住宅街を流れる芦屋川を駅のホームが跨いでいる。それが芦屋川駅です。登山客も多いというこの駅は六甲山の背景が似合うと思ひ、この構図になりました。



旧山邑家住宅(ヨドコウ迎賓館) 石川 恵津子

緑に囲まれた小高い丘の上に建つ旧山邑家は芦屋のシンボリックな存在です。重要文化財に指定され保存修理工事によって今もその姿を眺められるのはとても喜ばしいことです。



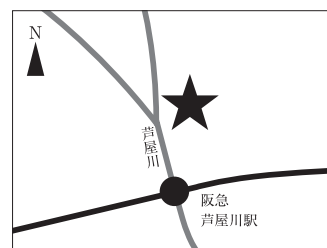




春の日

大田 嘉治

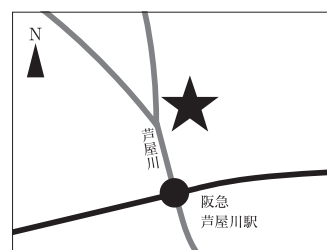
迎賓館の窓から外に目をやれば、芦屋川に沿った桜並木、その周辺には閑静な住宅街、さらに遠くを眺めれば海が見える。春爛漫の候、桜を愛でながら遠く霞んで見えない海岸はどんな風景が展開されているのか、想像するだけで楽しい。



絶景かな

大田 嘉治

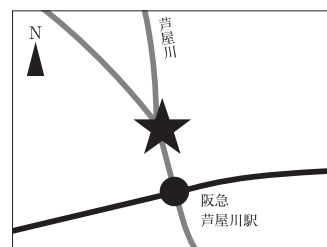
迎賓館のテラスから眺めれば「く」の字に曲がった芦屋川、その両岸は桜が満開、随所にかかる橋が左右に広がる住宅街を橋渡ししている様子が手にとるように分かる。



桜の花の下で

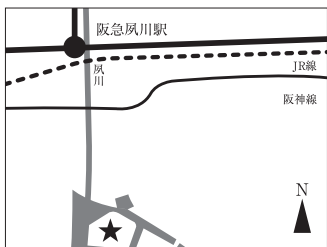
大田 嘉治

六甲山系から流れてくる清水、それらを集めて芦屋川へと注ぐ。その川の両岸は桜が満開、岸から川原に降り満開の桜の下で食事をする人、楽器の演奏に耽る人、春の日の平和な一時である。



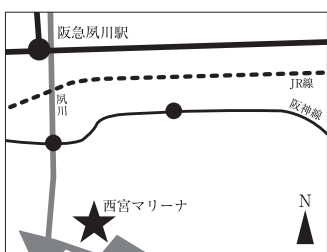
## ヨットハーバーの夕暮れ 高橋 一吉

新西宮ヨットハーバーに来て海を見ていると日常を忘れて別世界にいるようです。特に夕日が沈む頃は日本とは思えない美しい夕景を見ることができます。



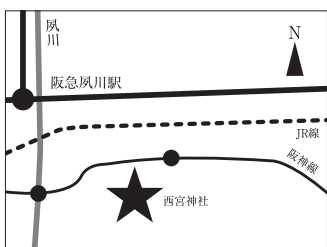
## 朝のマリーナ 花井 和夫

朝日に照らされる西宮マリーナは、どこか地中海の風景を彷彿させてくれます。



## 奉納鯛 ミヨシ トシオ

毎年「鯛」が奉納され十日戒には人気がありますが、「鯛」も注目をあびてもいいのではないかと思います。

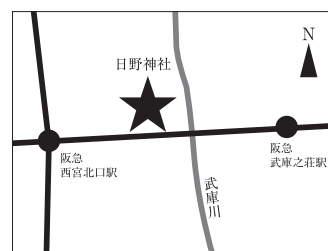






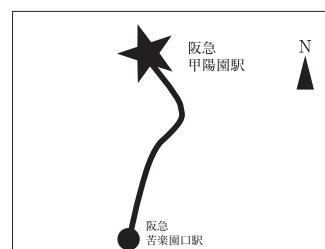
見守る安全 中 清

西宮北口から東に約 1 km 日野神社で撮影した作品で 3 枚 1 組の組み写真です。タイトル“見守る安全”は左右に狛犬の写真、真中に神社前走行中の電車を…狛犬に安全を見守って貰う構図の作品です。



甲陽園駅風景 若林 勇

阪急電車で唯一甲陽線には乗った事がなかったので一度乗ってみたいと思っていました。甲陽園駅を降りると、のどかな小高い山に囲まれ、可愛い街並みが良かったので描きました。

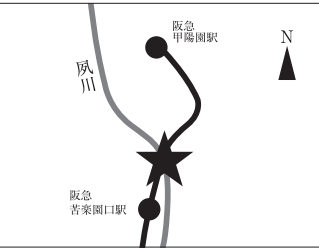






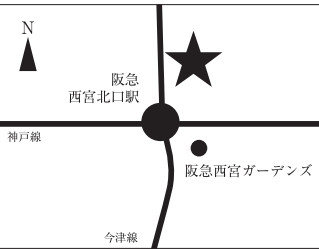
**桜のトンネル** 中谷 卓司

阪急甲陽線が夙川をまたぐ場所。夜の帳が降りる頃、満開の桜越しに電車を撮影しました。



**電車観賞** 平松 悠輝

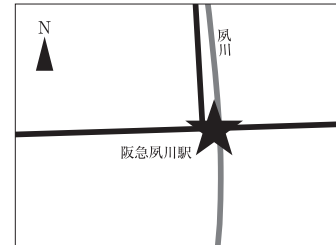
緑がいっぱいの花壇の中に、一つだけ咲いたアサガオがかわいくて撮りました。電車と一っしょにツーショットです。





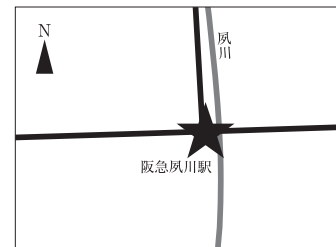
夙川の鯉のぼり kura (PN)

5月の夙川。阪急夙川駅付近で見られる鯉のぼり。まるで、夙川から飛び出た鯉のよう？ 4月は桜で賑わうが、風薫る5月にも心地よく過ごせそうなスポットです。



乗り換え駅ホーム 居村 倫也

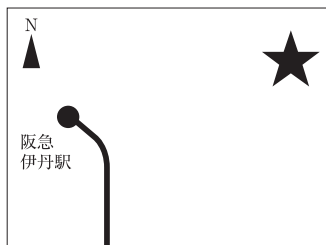
乗り換え駅のホームは歩き乍らの楽しい話題が飛びかい賑やかな場となります。今日も若い人達や幼児連れの若いお母さん達が楽しそうに動いています。いい光景ですね。





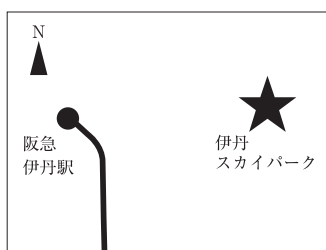
## 街中の飛行場 高橋 一吉

大阪空港に離着陸する飛行機が見れる伊丹スカイパークは芝生や遊具があり1日中遊べます。



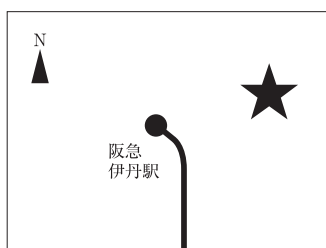
## 若者 南井 昭夫

飛行機の音を聞きながら、芝生の上でのんびりとくつろぐ二人。のどやかな風景でした。



## 酒蔵のある街 前川 敏夫

初めて目近に拝見してきました。



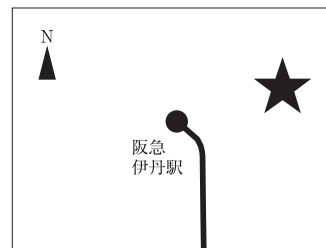




酒蔵と猫

大内 康弘

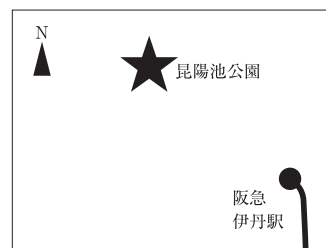
清酒発祥の地・伊丹にある白雪ブルワリービレッジ長寿蔵。築200年以上の酒蔵を改築し、レストランと日本酒のミュージアムになっている。その外観も美しい。200年前も同じように猫が居たのかな？



冬の旅人

高橋 一吉

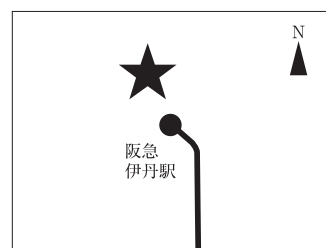
伊丹市にある昆陽池は鳥をたくさん見る事ができます。特に冬は渡り鳥が飛来し昆陽池の景色を変えてしまいます。



いざ、出発！！

大内 康弘

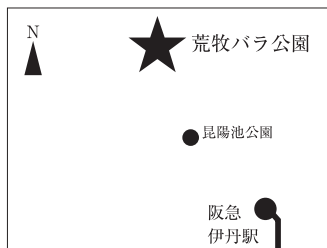
だんじりが華やかに、練り歩きへ出発です。その瞬間に立ち会うことが出来ました。



## 荒牧バラ公園

中嶋 紀子

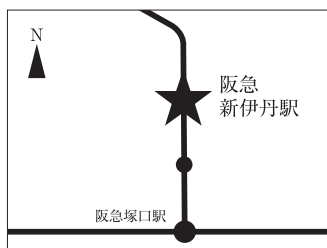
阪急伊丹駅よりバラ園行きのバスに乗る。公園は広くとても美しい。世界のバラの数々について見とれてしまいました。ゆっくりと楽しい1日でした。



## 新伊丹駅

山中 慶子

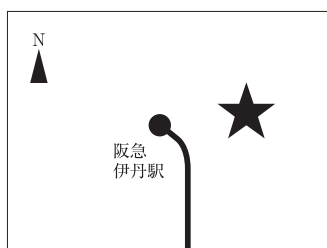
新伊丹駅は、愛らしい駅舎です。駅から出ると、いつも手入れされたバラ園が目の前に広がります。駅舎はなつかしい雰囲気が漂っています。バラ園から見る駅は、絵本の世界のようにです。



## 切りとられた空

宮田 仁

広場にあるステンレスの塔の曲面に映る風景が角度によって複雑に変化する。まるでちがう街が広がっている様は異次元だった。

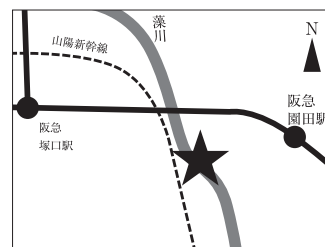






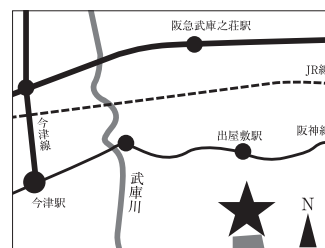
**のどかな春の風 田中 勝雄**

いつもは通勤している路線ですが、目線を変えることで、新しい風景にめぐりあえることもあります。



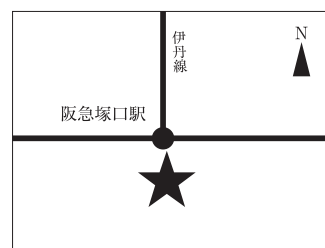
**尼崎工場夜景 高橋 一吉**

阪神工業地帯の中心となる尼崎工場地帯の夜景は、この地域の元気さに加え美しさがあります。一度は訪れて欲しい場所です。



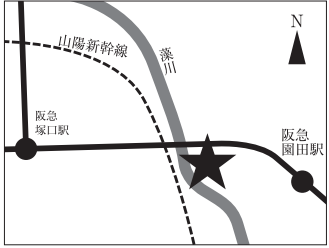
**イタリア酒場 寺本 陽介**

尼崎独特の存在感とイタリアの空気感が溶け合って生まれる唯一無二の癒し空間。繊細さと荒っぽさを合わせ持つイタリア人気質はダウンタウンの二人を彷彿とさせます。



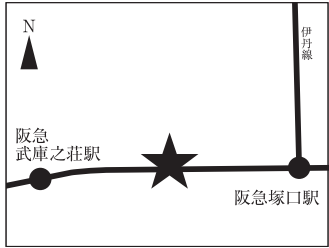
**コラボレーション M-Aki (PN)**

園田駅-塚口駅で阪急電車の路線と新幹線の路線が交差する地点があります。阪急電車と新幹線のコラボレーションの瞬間を撮影しました。



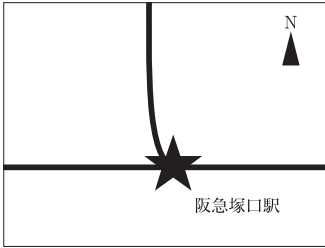
**特等席 島田 愛子**

辰巳台公園にある遊具が娘と息子のお気に入りの場所。ここから阪急電車に手をふるのが赤ちゃんの頃から大好きです。小さな手を思いきりのばして手をふるかわいい子ども達の姿が見られる、私の大好きな場所です。



**伊丹線のカーブ 田中 決理**

伊丹線のホームからの画です。ボクはここからのカーブがとても好きです。



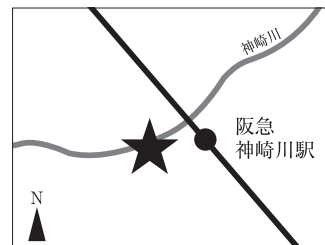




神崎川夕景

水上 毅

私にとって神崎川の車窓風景と言えば、ゴルフ練習場です。河川敷を行き交う人にとってもランドマークなんだろうな。



## 本コンテストの入賞作品 発表・展示の様子

本コンテストの入賞作品は、以下のように発表・展示を行いました。

### ○ええはがきコンテストホームページ

- ・全入賞61作品を紹介とはがきデータの提供

□URL □ <http://stage-www.hankyu.co.jp/eehagaki/>

### ○沿線情報紙 TOKK 12月1日号

- ・上位16作品を紹介

### ○パネル展示(11月28日～12月13日 梅田駅1階中央WEST広場)

- ・全入賞 61 作品の展示と上位16作品のはがきをパネルに設置したラックにて配布
- ・過去の入賞作品をモニターにて放映



ええはがきコンテスト  
ホームページ



パネル展示  
(梅田駅1階中央WEST広場)



TOKK12月1日号

## 第1回 阪急電鉄開業100周年記念 阪急ええはがきコンテスト 宝塚線・箕面線

阪急電鉄開業100周年を記念して、創業当時の路線である宝塚線・箕面線沿線を対象に開催。

作品募集期間：2010年2月1日～5月7日

対象路線：宝塚線、箕面線

対象エリア：大阪市(北区・淀川区)、豊中市、池田市、箕面市、川西市、宝塚市

審査員(敬称略)：有野永霧(写真家)、井上正三(画家)、杉本容子(大阪ええはがき研究会)、茶谷幸治(イベントプロデューサー)

入選作品：100作品

主催：阪急電鉄株式会社

共催：阪急阪神ホールディングス株式会社

後援：大阪府、兵庫県、大阪市、豊中市、池田市、箕面市、川西市、宝塚市、池田市観光協会、箕面市観光協会、川西市観光協会、宝塚市国際観光協会

協力：大阪ええはがき研究会



最優秀賞 写真部門  
五月のレンゲ畑 當山悦司



最優秀賞 絵画部門  
豊南市場 内橋未央



PRポスター



開業100周年記念シンポジウムでの表彰式  
(宝塚ホテル)



入選作品の展示  
(梅田駅1F中央WEST広場)



## 第2回 映画「阪急電車 片道15分の奇跡」ロードショー記念 阪急ええはがきコンテスト 今津線

映画「阪急電車 片道15分の奇跡」のロードショーを記念して、映画の舞台である今津線沿線を対象に開催。

作品募集期間：2011年3月25日～6月3日

対象路線：今津線

対象エリア：宝塚市、西宮市

審査員(敬称略)：有川浩(作家)、有野永霧(写真家)、井上正三(画家)、杉本容子(大阪ええはがき研究会)

入選作品：54作品

主催：阪急電鉄株式会社

共催：阪急阪神ホールディングス株式会社

後援：兵庫県、宝塚市、西宮市

協力：大阪ええはがき研究会

特別協力：西宮市宝塚市内郵便局、阪急西宮ガーデンズ



最優秀賞 写真部門  
マイ・ウェイ 本城利彦



最優秀賞 絵画部門  
ビール工場 奥村誠



PRポスター



入選作品の展示  
(西宮北口駅カリヨン広場)



## 第3回 阪急ええはがきコンテスト 京都

初めて京都方面を対象にしたコンテスト。

作品募集期間：2012年3月27日～5月31日

対象路線：京都線(京都府域)、嵐山線

対象エリア：京都市(中京区・東山区・下京区・右京区・西京区)、向日市、長岡京市、大山崎町

審査員(敬称略)：有野永霧(写真家)、井上正三(画家)、杉本容子(大阪ええはがき研究会)、土居好江(NPO法人遊悠舎京すずめ)

入選作品：102作品

主催：阪急電鉄株式会社

共催：阪急阪神ホールディングス株式会社

後援：京都府、京都市、向日市、長岡京市、大山崎町

協力：大阪ええはがき研究会、株式会社阪急コミュニケーションズ



最優秀賞 写真部門  
一本の橋 水上毅



最優秀賞 絵画部門  
京の風情 納涼床 中村勇人



PRポスター



入選作品の展示  
(梅田駅1F中央WEST広場)



## 第4回 阪急ええはがきコンテスト京都線part2

西山天王山駅が2013年12月に開業したことを記念して開催。

作品募集期間：2013年7月8日～9月30日

対象エリア：西山天王山駅を中心とする京都線沿線地域(向日市域～高槻市域)、西山天王山駅で直結する京都縦貫自動車道沿道地域(亀岡市、京都市(西京区・伏見区)、八幡市、久御山町)

審査員(敬称略)：有野永霧(写真家)、井上正三(画家)、杉本容子(大阪ええはがき研究会)

入選作品：75作品

主催：阪急電鉄株式会社

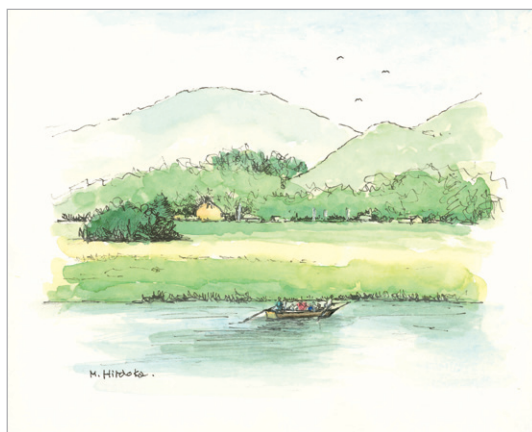
共催：阪急阪神ホールディングス株式会社

後援：京都府、大阪府、向日市、長岡京市、大山崎町、高槻市、島本町

協力：大阪ええはがき研究会、株式会社阪急コミュニケーションズ



最優秀賞 写真部門  
春風 鳴瀬博美



最優秀賞 絵画部門  
保津川下り 平岡正己



PRポスター



入選作品の展示  
(梅田駅1F中央WEST広場)

## 第5回 阪急ええはがきコンテスト 阪急京都線part3&千里線

京都線(大阪府域)と千里線でコンテストを開催。

作品募集期間：2014年3月27日～5月31日

対象路線：京都線(総持寺～南方)、千里線(北千里～天神橋筋六丁目)

対象エリア：茨木市、摂津市、吹田市、大阪市(東淀川区、淀川区、北区)

審査員(敬称略)：有野永霧(写真家)、井上正三(画家)、杉本容子(大阪ええはがき研究会)

入選作品：55作品

主催：阪急電鉄株式会社

共催：阪急阪神ホールディングス株式会社

後援：大阪府、茨木市、摂津市、吹田市、大阪市

協力：大阪ええはがき研究会、株式会社阪急アドエージェンシー



最優秀賞 写真部門  
見守る太陽の塔 常藤 光一



最優秀賞 絵画部門  
懐古風景 居村 倫也



PRポスター



入選作品の展示  
(梅田駅1F中央WEST広場)



# 審査員の先生方からのメッセージ

コンテストの審査員の先生方からいただいた、コンテストを振り返ってのメッセージをご紹介します。

## 有野永霧先生（写真家）

神戸線は、京都線とともに、阪急電車を支えてきた主要な幹線です。それにつながる伊丹線と甲陽線も歴史のある線路です。人を惹きつけるものが多くある場所でもあるので、応募数が増えました。数と質は比例するとよく言われますが、数が増えると自然に質も上がってくるもので、審査もより楽しいものでした。

全体に、地域独特の風景や、催し物に集まる人々のスナップ写真に見るべき物が多くありました。今回は自分でプリントする人が多くなり、そのインクジェットの表現技術が格段にレベルアップしていることに驚きました。これからのコンテスト応募に際しては、色感覚を高め、色調整の力も養っておく必要があるようです。

### ■有野永霧(ありの えいむ)先生プロフィール

尼崎市生まれ。大阪学芸大学(現大阪教育大学)卒業。1985年尼崎市民芸術奨励賞、2002年尼崎市民芸術賞受賞。1981年タイムライフ写真年鑑新人賞、1994年第19回伊奈信男賞受賞。国内外で多数の写真展を開催し、写真集に「虚実空間・都市」、「都市からのメッセージ」、「都市との対話」、「虚実空間・空蟬の都市」、「虚実空間・空蟬の風景」、新刊に「日本人景 温泉川」などがある。写真家。元大阪芸術大学教授。

## 井上正三先生（画家）

今回の応募作品は、想像力溢れたおおらかな楽しい絵がかなりありました。それらの中には、自分の思い出やイメージをテーマにした作品もあり、そのことが今回の印象に残りました。日頃、絵を描いていまずと、構図や明暗、筆致といったことが気になりますが、今回の出品作品の多くは、そういったハウツーよりも自身のイメージを如何に具現化するか、そのことに主力を置いた方が絵は楽しいよと言ってきている気がします。情景をそのまま写し取るということではなく、自分の想像力を主人公にして描くという絵画の大切な原点を改めて認識させていただいたと思っております。

### ■井上正三(いのうえ しょうぞう)先生プロフィール

1944年生まれ、芦屋市在住。1994年に絵はがきシリーズ「風のたより」初出版、2008年には水彩画集「風のたよりに彩添えて」を日貿出版社から出版。モロゾフ製菓のパッケージデザイン、芦屋市や宝塚市の広報誌なども数多く採用され、2002年には、芦屋市から米姉妹都市モンテペロ市に水彩画「芦屋川」が寄贈された。現在、ジパング倶楽部の講師、谷崎潤一郎記念館文学館講師など阪神間各地で絵画教室を担当し、月刊誌「まいんど」の連載など幅広い部門を手掛けている。

## 杉本容子先生（大阪ええはがき研究会）

第6回目の今回、阪急電鉄全線制覇ということで節目の回となりました。回を重ねるごとにええはがきらしい、クオリティの高い作品が増えてきているように感じますが、今回はそれを超えて、新しいええはがきのあり方を問いかけるような秀作が多く入選しました。コンテストがつくりあげてきた阪急沿線のまちの見方、まちとの関わり方が、また一歩広がりを見せたように感じます。進化するええはがきコンテスト、またまた次回が楽しみです。

### ■杉本容子(すぎもと ようこ)先生プロフィール

大阪ええはがき研究会メンバー。(株)ワイキューブ・ラボ代表取締役。都市魅力プランナー。大阪大学大学院工学研究科環境工学専攻博士前期課程修了。工学博士。杜の都仙台生まれ、白砂青松湘南育ち、水都大阪に生きるまちづくり好き。水辺の魅力づくりや歴史的環境のまちづくりを得意とし、まちをおもしろくするNPO活動にも積極的に参加。民間特別任用により大阪府都市魅力創造局立ち上げの政策企画を担当した経験をもつ。現在は一児の母とまちづくりコンサルタントの二足の草鞋で奮闘中。

## 阪急ええはがきコンテスト 神戸線・伊丹線・甲陽線 入賞作品集

発行 2015年12月

編集・発行 阪急電鉄株式会社 都市交通計画部  
大阪府大阪市北区芝田1-16-1

E-mail [hc-eehagaki@hankyu-group.jp](mailto:hc-eehagaki@hankyu-group.jp)

URL <http://www.hankyu.co.jp/eehagaki/>







私たちは、未来へつなく「環境づくり」と「人づくり」に貢献します。